

## 野菜の消費拡大策について

全国農業協同組合連合会

平成 20 年 11 月 11 日

[第 5 回野菜需給協議会資料]

## J A グループの野菜消費拡大に係る取組み状況について

全国農業協同組合連合会

J A グループの最近の消費拡大に係る取組みについて、以下のとおり報告する。

### 1. これまでの取組概要

#### (1) キャベツおよび夏野菜レシピの配布

ア. 実施日：平成 20 年 8 月 22 日（金）

イ. 場 所：J A ビル前（東京都千代田区大手町）

ウ. 参加者：J A 婦恋村組合長他、全農群馬県本部職員、全農本所職員、農水省生産局職員

#### エ. 内 容

(ア) キャベツの無償配布（600個）

(イ) 夏野菜レシピ 「暑さすっきり！夏の野菜レシピ集」の配布



\* 8 月 19 日（火）に農水省が記者レクを実施したこともあり、このキャベツの無償配布および価格低迷の状況は、TBS・日本テレビをはじめ多くのマスコミに取り上げられた。

#### (2) 夏野菜消費拡大チラシの作成・配布

ア. 作成時期：平成 20 年 8 月

イ. 作成枚数：10 万部

\* 農畜産業振興機構の補助事業を活用

#### ウ. 使 用

(ア) 全農本所が作成し、全県連・県本部へ送付

(イ) 県連・県本部にて、各県独自の催事および「やさいの日」などのイベントの際に消費者へ配布



(3) 「やさいの日」の全国一斉取組み

「やさいの日」(8月31日)にかけて全県一斉に取組みを実施した。

**各県における取組み状況**

- ア. 街頭およびイベント会場等におけるチラシ等の配布
- イ. 量販店等における消費拡大・販売促進の取組み

**都内における取組み内容**

- ア. シンポジウム開催

場所：丸の内OAZO（東京駅丸の内口）

内容：タレント・ジャーナリスト・生産者らによる、産地の現状・青果物摂取の重要性等に関するパネルディスカッション

イ. 産地アピール

内容：県産野菜のPRと県産品の来場者プレゼント

参加：19 県連・県本部および野菜生産者 全国からの動員数は 62 名



ウ. ラチシ配布

場所：シンポジウム会場（東京駅）周辺、東京ドーム、お台場他

参加：24 県および本所 動員総数は約 100 名

[配布数]

場 所	配布物	枚 数	備 考
丸の内	チラシ	1,000	
東京ドーム	チラシ	4,000	8/30・8/31 両日合計
お台場	チラシ他	4,000	
量販店	チラシ他	1,400	
	計	10,400	



エ. 量販店での調理実演

内容：キャベツの使いきり使用法、野菜摂取の重要性のベジフルティチャーによる情報発信とチラシ配布およびマネキン投入による販促活動

店舗：大手量販店の大型店舗 20 店

## 2. 当面の取組予定

(1) 時期：平成20年11・12月

(2) 取組のねらい

- キーワードを「鍋」として、「鍋」料理を通じて野菜摂取の必要性や手軽さなどを訴える。
- メインターゲットを若者（大学生）とし、消費者全体への消費拡大の呼びかけと合わせて、若者へ働きかけることで消費拡大を図る。
- 果実類（みかん・りんごなど）も合わせて取組むことによる相乗効果を図る。

(3) 内容

ア. 若者（大学生）向け

- ①ミニセミナーの開催
- ②鍋作り方講座の開催
- ③学食での鍋メニューの提供
- ④鍋レシピの配布（学食テーブル等への設置）

イ. 消費者全体

- ①量販店での「鍋」野菜販促の実施
- ②各種イベント等での鍋レシピ・理解醸成チラシの配布

以 上